

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立大淀小学校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 道徳教育や幼小交流を通して、学校全体としていじめを許さない雰囲気や、互いに助け合える態度が醸成されてきた。しかし様々な調査結果からは、自己肯定感に伸びは見られるものの、全国と比較すると決して高いとはいえない傾向がある。本年度以降も、たてわり班活動や幼保小の架け橋プログラム（ほめ育）等による異学年での楽しい活動も含めて、他の人との肯定的なかかわり合いの中で道徳的規範や自己肯定感を育んでいく必要がある。
- 学習に関しては、児童の実態に合わせて学習の展開を工夫したことで、一人一人が自分なりの考えをもって自主的に学習に取り組む姿勢が見られるようになってきた。ただ、友だち間での話し合い活動によって考えを深めたり広げたりすることのできていない児童もいるため、体験的な活動や体育科の授業での児童同士のかかわり合いも大切にしながら、協働的な学びを進めていく必要がある。
- コロナの影響で止まっている地域との関係の再構築も必要である。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度末の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を、毎年 80% 以上を維持する (R3 : 76.6%)。
- 令和 7 年度末の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「そう思う (だいたいそう思う)」という回答を、毎年 85% 以上を維持する (R3 : 83.0% R4 : 86.9% R5 : 88.3% R6 : 83.8%)。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「授業の内容はよく分かりますか」の項目に対して、「国語」「算数」において、肯定的に回答する児童の割合を同一母集団で維持する。

※R3/国語：3 年生 87.5 4 年生 89.3 5 年生 88.0 6 年生 89.1

算数：3 年生 86.5 4 年生 92.6 5 年生 77.0 6 年生 91.8

- 令和 7 年度末の学校アンケートにおける「毎日気をつけて、手洗いやうがいをきちんとすることができますか」「子どもは、健康な生活のための手洗いやうがい、早寝早起き等の生活習慣が身についている」の項目について、「そう思う (だいたいそう思う)」という回答を、85% 以上にする。

※R3/児童：83.3% 保護者：83.8%

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度学校ホームページアクセス数を令和 3 年実績より 10% 以上向上させる。
- デジタル教材・学習用端末を活用した学習を全学級で週 2 回は実施する。
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 70% 以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。(R6 : 79. 9 %)
- ② 令和 7 年度末の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合をどの学年においても 80%以上にする。(R6 : 75. 7%)
- ③ 令和 7 年度末の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「そう思う(だいたいそう思う)」という回答をどの学年においても 85%以上にする。(R6 : 83. 8%)
- ④ 令和 7 年度末の学校アンケートにおける「幼小交流を通して、幼稚園の園児と一緒に楽しく活動することができましたか」という問い合わせに「そう思う(だいたいそう思う)」という回答をどの学年も 90%以上にする。(R6 88. 9%)

【未来を切り開く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う機会を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。(R6 : 34. 6%)
- ② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市平均を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。
- ③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 80%以上にする。(R6 : 78%)
- ④ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。(R6 : 81%)
- ⑤ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合 68%以上にする。(R6 : 67. 8%)
- ⑥ 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「授業の内容はよく分かりますか」の項目に対して、「国語」「算数」において、肯定的に回答する児童の割合をすべての学年で市平均以上にする。(R6 : 国語 : 4 学年中 3 学年 算数 : 4 学年中 1 学年)

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(R6 年度 2月 月間活用率平均 54.4%)
- ② 令和7年度の小学校学力経年調査における「正しいキーワードを入力して、知りたいことをインターネットで調べることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R6 90.4%)
- ③ 教職員一人当たりの残業時間数を、大阪市の平均残業時間数より下回るようにする。(R6 : 本校 : 21 時間 00 分 大阪市 : 23 時間 49 分 校種別 2月までの累計)
- ④ 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R6 71.9%)

大阪市立大淀小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】	
① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。(R6 : 79.9 %)	
② 令和7年度末の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合をどの学年においても80%以上にする。(R6 : 75.7%)	
③ 令和7年度末の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「そう思う(だいたいそう思う)」という回答をどの学年においても85%以上にする。(R6 : 83.8%)	
④ 令和7年度末の学校アンケートにおける「幼小交流を通して、幼稚園の園児と一緒に楽しく活動することができましたか」という問い合わせに「そう思う(だいたいそう思う)」という回答をどの学年も90%以上にする。(R6 88.9%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
目標①の取組内容 【基本的な方向1 安全・安心な教育の実現】(村井) いじめについて考える日を設定し、校長の講話を聴いたのち道徳の教科書を用いて思いやりの心に関する道徳教育を各学級で実施する。	
指標 学校生活アンケートの「友だちの気持ちを考えた言葉遣いや行動ができましたか」という問い合わせに「そう思う(だいたいそう思う)」という回答において80%以上にする。	
目標②の取組内容 【基本的な方向2 豊かな心の育成】(吉井) 児童の自己肯定感を高めるために、各学年で自己肯定感を向上するためのキャリア教育の取り組みを行う。	
指標 各学年で自己肯定感を向上するためのキャリア教育の取り組みを年1回以上実施する。また、学校生活アンケートの「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合をどの学年においても80%以上にする。	
目標③の取組内容 【基本的な方向2 豊かな心の育成】(濱本) たてわり班活動の活性化を図り、異学年交流を深める。	
指標 学校生活アンケートの「たてわり活動は協力してできましたか」という問い合わせに「そう思う(だいたいそう思う)」という回答を85%以上にする。	

目標④の取組内容【基本的な方向 2 豊かな心の育成】(吉井)

どの学年も年間計画に沿って幼小交流活動を実施し、児童が園児と関わる取り組みを行うことによって自尊感情を高めることができるようとする。また、幼稚園年長園児と小学1年生を対象に、「幼保小架け橋プログラム」の取り組みを実践する。

指標

全学年が1回以上、幼小交流活動に取り組み、学校アンケートで「幼小交流を通して、幼稚園の園児と一緒に楽しく活動することができましたか」という問い合わせに「そう思う（だいたいそう思う）」という回答をどの学年も90%以上にする。また、幼（年長）と小（1年生）を対象に「幼保小架け橋プログラム」の取り組みを2回以上実践する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ①
- ②
- ③
- ④

次年度への改善点

- ①
- ②
- ③
- ④

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】	
<p>① 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う機会を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。(R6 : 34.6%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p>(国語: 4年0.4ポイント向上 5年0.7ポイント減少 6年2ポイント減少) (算数: 4年0.1ポイント減少 5年0.5ポイント向上 6年0.6ポイント減少)</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R6 : 78%)</p> <p>④ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(R6 : 81%)</p> <p>⑤ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を68%以上にする。(R6 : 67.8%)</p> <p>⑥ 令和7年度の小学校学力経年調査における「授業の内容はよく分かりますか」の項目に対して、「国語」「算数」において、肯定的に回答する児童の割合をすべての学年で市平均以上にする。(R6 : 国語: 4学年中3学年 算数: 4学年中1学年)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
目標①の取組内容 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(下山) 児童が自分の考えを深めたり広げたりすることができるよう、学習中に話し合い活動の時間を設定する。	
指標 学校アンケートの「毎日、学級の友だちと話し合う活動を行うことができましたか」という問い合わせに「そう思う」という回答を40%以上にする。	
目標②⑥の取組内容【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(升谷) 国語科および算数科において、児童の学習の定着をはかるために、各学年児童の実態に応じて学習形態を工夫する。	

<p>指標</p> <p>国語科および算数科の学習において、各学年児童の実態に応じた指導の工夫を、それぞれ年に1回以上行う。</p>	
<p>目標③の取組内容【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(泉)</p> <p>児童が興味・関心をもって主体的に理科の学習に取り組むことができるよう、児童の実態に応じた学習形態を工夫する。</p>	
<p>指標</p> <p>理科の学習が実生活と結びつくような仮説実験および出前授業、施設の利用を各学年で年間1回以上行う。</p>	
<p>目標④の取組内容【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(大西)</p> <p>児童が興味・関心をもって主体的に外国語（英語）に親しむことができるよう、外国語（英語）に親しむ機会を増やす活動を設定する。</p>	
<p>指標</p> <p>全校集会で英語を取り入れた活動を学期に1回行う。</p>	
<p>目標⑤の取組内容【基本的な方向5 健やかな体の育成】(亀本)</p> <p>児童が運動の楽しさを感じながら意欲的に学習に取り組めるような体育行事を設定する。</p>	
<p>指標</p> <p>運動会などの体育的行事を学期に1回以上開催する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】	
<p>① 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。(R6 年度 2 月 月間活用率平均 54.4%)</p> <p>② 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「正しいキーワードを入力して、知りたいことをインターネットで調べることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 92% 以上にする。(R6 90.4%)</p> <p>③ 教職員一人当たりの残業時間数を、大阪市の平均残業時間数より下回るようにする。(R6 : 本校 : 21 時間 00 分 大阪市 : 23 時間 49 分 校種別 2 月までの累計)</p> <p>④ 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75% 以上にする。(R6 71.9%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
目標①②の取組内容【基本的な方向 6 教育 DX の推進】(鎌水) デジタル教材を活用した授業を実施するとともに、「心の天気」や「navima」などのデジタル教材を通して学習者用端末を日常的に使用する習慣を身に付けさせる。また、学習の中でインターネットによる調べ学習をする機会を持たせる。	
指標 ・「心の天気」の入力を習慣化させる。 ・3 年生以上の学年で各学期に 1 回以上インターネットによる調べ学習を行わせる。	
目標③の取組内容【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】(管理職) ・週に 1 回のゆとりの日の設定と、それを意識した働き方への意識を高める。 ・学校閉庁日の日数を増やしたり、始業式・終業式の弾力的運用を行ったりすることにより、年次有給休暇を取得しやすい環境を作る。	
指標 ・時間外勤務の職員平均時間を、昨年度よりも少なくする。	
目標④の取組内容【基本的な方向 8 生涯学習の支援】(中南) ・司書教諭と連携し、図書室の活性化に取り組む。また、読書週間の企画や昼休みの図書室開放を行うことで、児童の読書意欲を高めることができるようとする。	
指標 ・日常的な読書環境の整備を継続して行うとともに、読書週間などの企画を年に 2 回以上行う。また、来室者数を昨年度より増やすことができるようとする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ①
- ②
- ③

④

次年度への改善点